

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

株式に関する手続き

単元未満株式の買増・買取、住所変更などの各種手続きについて

原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

単元未満株式の買増・買取制度について

当社では、1単元(100株)未満の株式をご所有の株主さまに対し、ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」を実施しております。

同お問い合わせ先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(通話料無料) (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場)
公告方法	日本経済新聞

特別口座に記録された株式に関する各種手続きについて

当社株主名簿管理人である、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

特別口座について

証券会社等の口座に入庫されていない株券につきましては、当社が開設した「特別口座」において管理されています。「特別口座」では譲与・譲渡のお手続きができませんので、売買するには証券会社に同一名義の口座を開設し、株式振替を行うお手続きが必要となります。

未受領の配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店においてお取り扱いいたします。

ホームページでもIR情報を公開しています

幅広いIR関連情報を、当社ホームページの「株主・投資家の皆様へ」で公開しています。決算短信や有価証券報告書などの適時開示資料をはじめ、決算説明会資料や統合報告書などを掲載しています。

また当社では、株主さまからのご意見・ご要望もお受けしています。ご意見・ご要望がございましたら、電話やハガキ、またはe-メール(ir@alfresa.com)でお気軽にお寄せください。当報告書に関するご意見もお待ちしております。

<https://www.alfresa.com/ir/>



「アルフレッサグループ
統合報告書 2022」

アルフレッサ ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部
〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階
TEL:03-5219-5102 FAX:03-5219-5103



alfresa

アルフレッサ ホールディングス株式会社



株主のみなさまへ

2023年3月期 報告書

(2022年4月～2023年3月)

証券コード 2784

Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

alfresagroup



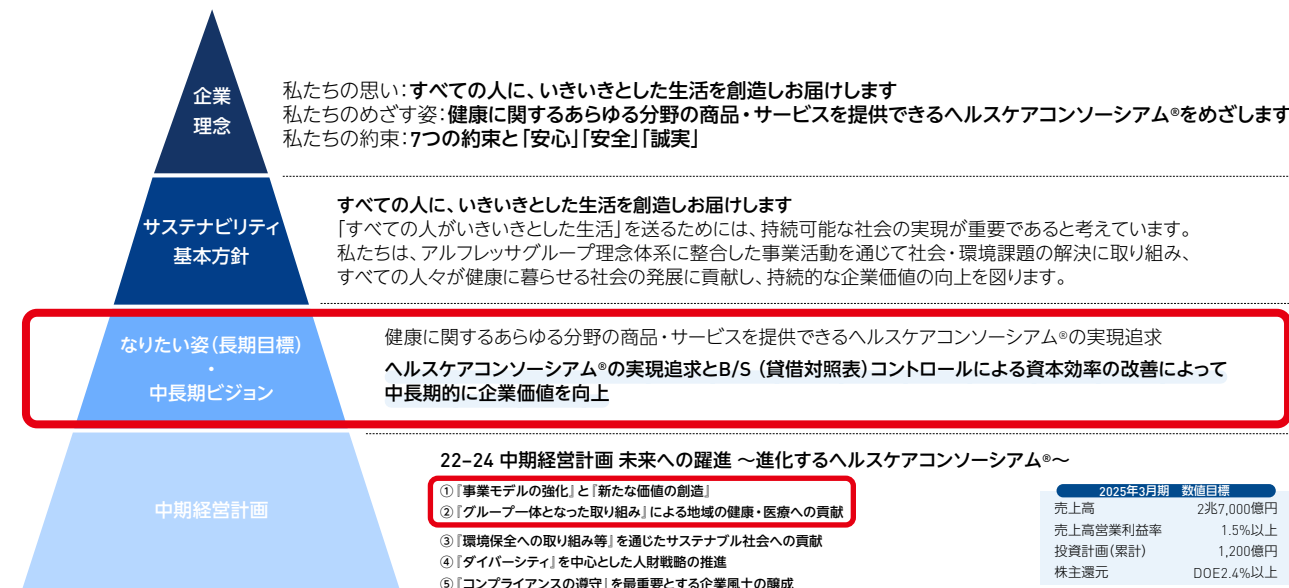
株主のみならずには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症の拡大から3年以上が経過し、日常における基本的な感染対策について、主体的な選択を尊重し個人や事業者の判断に委ねるなど、社会経済活動は正常化に向けて動き始めました。

さて、2022年5月に発表した「22-24 中期経営計画 未来への躍進～進化するヘルスケアコンソーシアム®～(以下、22-24 中計)」につきましては、当初計画を達成して初年度を終えることができました。22-24 中計の2年目にあたる今期は、計画の達成に向けて2023年4月1日付で当社の機構改革を行いました。グループ一丸となった営業・ロジスティクス体制の整備、医療用医薬品やメディカル品の卸売事業における総合力の強化、ならびに医療用医薬品等卸売事業の流通コンプライアンス

や独占禁止法遵守の推進など、グループガバナンス体制のさらなる整備と強化を推進しつつ、グループシナジーの発揮により、基盤事業の強化および成長事業や新規事業の拡大を目指します。また、セルリノソーシズ(株)を設立し再生医療事業へ参入したほか、地域医療連携を促進させる医師向け会員制Webサービス「ドクシル」を運営する(株)ゲッカワークスを設立して実証実験を開始するなど、デジタルツールを活用した新しい事業もスタートしました。

当社の2023年3月期の連結業績は、売上高2兆6,960億69百万円(前期比4.3%増)、営業利益301億48百万円(同3.6%増)、経常利益328億31百万円(同0.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益257億86百万円(同19.9%減)となりました。配当は、期初の予定通り年間配当金57円としました。

「アルフレッサグループ中長期ビジョン」の位置づけ



2023年5月には、グループのさらなる企業価値向上を実現すべく、事業戦略および財務・資本戦略を柱とした中長期的な取り組み方針として、新たに「アルフレッサグループ中長期ビジョン」を発表しました。私たちの経営の原点である企業理念を最上位に置き、サステナビリティ基本方針のもと、当社のなりたい姿(長期目標)に整合するものとして「アルフレッサグループ中長期ビジョン」を位置づけています。また、昨年発表しました22-24 中計の延長線上にこの中長期ビジョンがあります。中長期ビジョンにつきましては、本報告書に詳しく記載していますので、P.5-7の「特集アルフレッサグループ中長期ビジョン」をご覧ください。

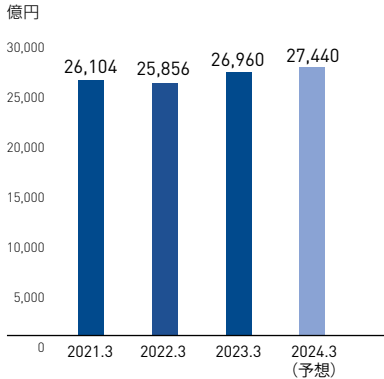
私たちを取り巻く環境は、薬価の中間年改定実施や物流費をはじめとしたコスト上昇など、急激に変化しています。このような環境に対して、当社グループは、企業理念とサステナビリティ基本方針に基づき、3力年の中期経営計画に加え、新たに中長期ビジョンを定め、基盤事業・成長事業・新規事業による利益拡大および資本効率の改善によって企業価値の向上を目指してまいります。今後ともご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 荒川隆昭

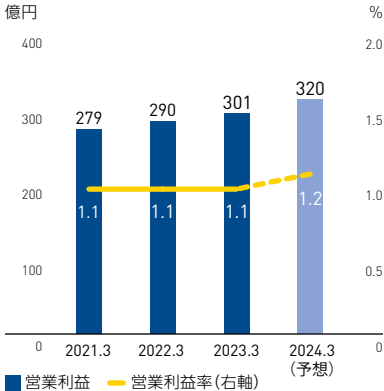
連結財務ハイライト

(注)売上高、営業利益・営業利益率については、2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」等の適用による会計方針の変更および受取情報料等について表示方法の変更を行っています。なお、2021年3月期の実績につきましては、受取情報料等の表示方法の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しています。

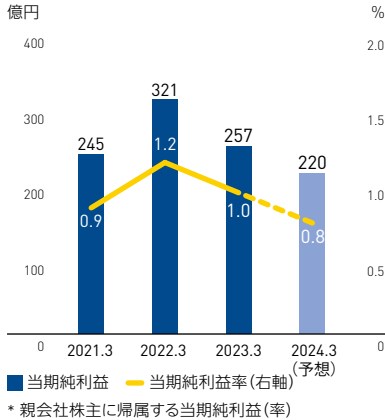
売上高



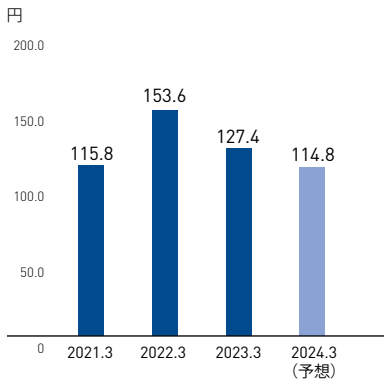
営業利益・営業利益率



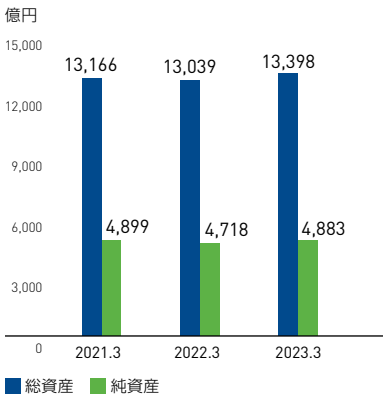
当期純利益・当期純利益率*



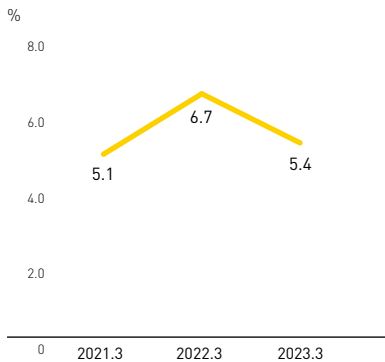
1株当たり当期純利益 (EPS)



総資産・純資産



ROE (自己資本当期純利益率)



「将来見通し」に関する注意事項

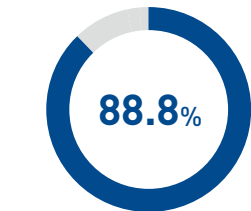
当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれています。様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

事業別業績

連結売上高 **2兆6,960億円** (前期比4.3%増)

医療用医薬品等
卸売事業

売上高構成比率



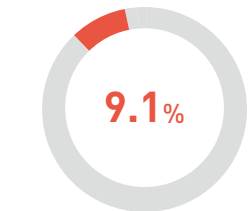
売上高 **2兆3,953億円**
(前期比4.7%増 ▲)

営業利益 **269億円**
(前期比8.6%増 ▲)

薬価改定のマイナス影響があったものの、市場の伸長および診断薬等の「メディカル品」の需要拡大等により、売上高2兆3,953億円（前期は2兆2,881億円）、営業利益269億円（同248億円）となりました。

セルフメディケーション
卸売事業

売上高構成比率



売上高 **2,466億円**
(前期比0.8%増 ▲)

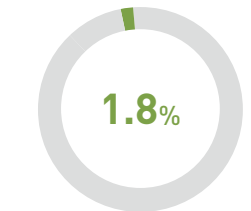
営業利益 **21億円**
(前期比12.9%増 ▲)

新型コロナウイルス感染症予防関連商品の需要の落ち込み等の減収要因の一方で、インバウンド需要の回復や利益・コスト管理の徹底により、売上高2,466億円（前期は2,448億円）、営業利益21億円（同18億円）となりました。

連結営業利益 **301億円** (前期比3.6%増)

医薬品等
製造事業

売上高構成比率



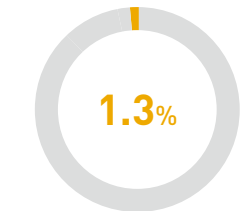
売上高 **490億円**
(前期比3.6%増 ▲)

営業利益 **4億円**
(前期比77.5%減 ▼)

製造販売権を承継した長期収載品の売上伸長および新型コロナウイルス抗原迅速検査キットの需要増加等の一方で、減価償却費の増加等により、売上高490億円（前期は473億円）、営業利益4億円（同18億円）となりました。

医療
関連事業

売上高構成比率



売上高 **362億円**
(前期比5.0%増 ▲)

営業利益 **3億円**
(前期比80.7%増 ▲)

薬価改定に伴う減収の一方で、連結子会社のアポクリート(株)による同社の非連結子会社からの事業譲受に伴う増収等の影響により、売上高362億円（前期は344億円）、営業利益3億円（同1億円）となりました。

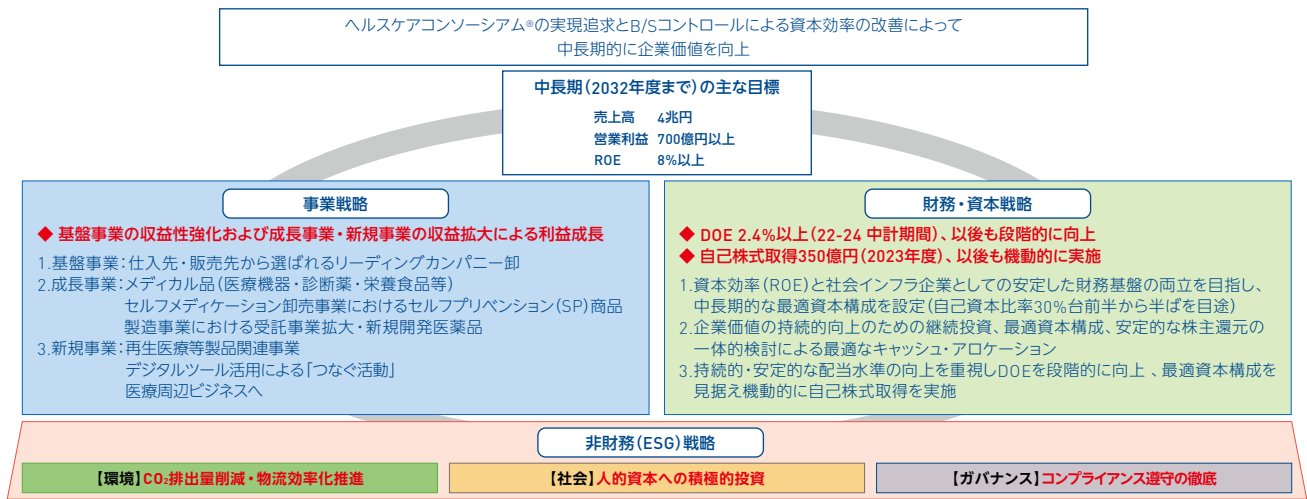
アルフレッサグループ中長期ビジョン

「アルフレッサグループ中長期ビジョン」全体像

2023年5月に、当社はグループのさらなる企業価値向上を実現すべく、事業戦略および財務・資本戦略を柱とした中長期的な取り組み方針として、新たに「アルフレッサグループ中長期ビジョン」を策定しました。

中長期(2032年度まで)の主な目標として、売上高4兆円、営業利益700億円以上、およびROE 8%以上と設定しました。また22-24 中計3カ年累計の総還元性向を100%とし、本年度には設立20周年記念配当として1株当たり10円と、過去最大規模となる350億円の自己株式の取得についても発表しています。

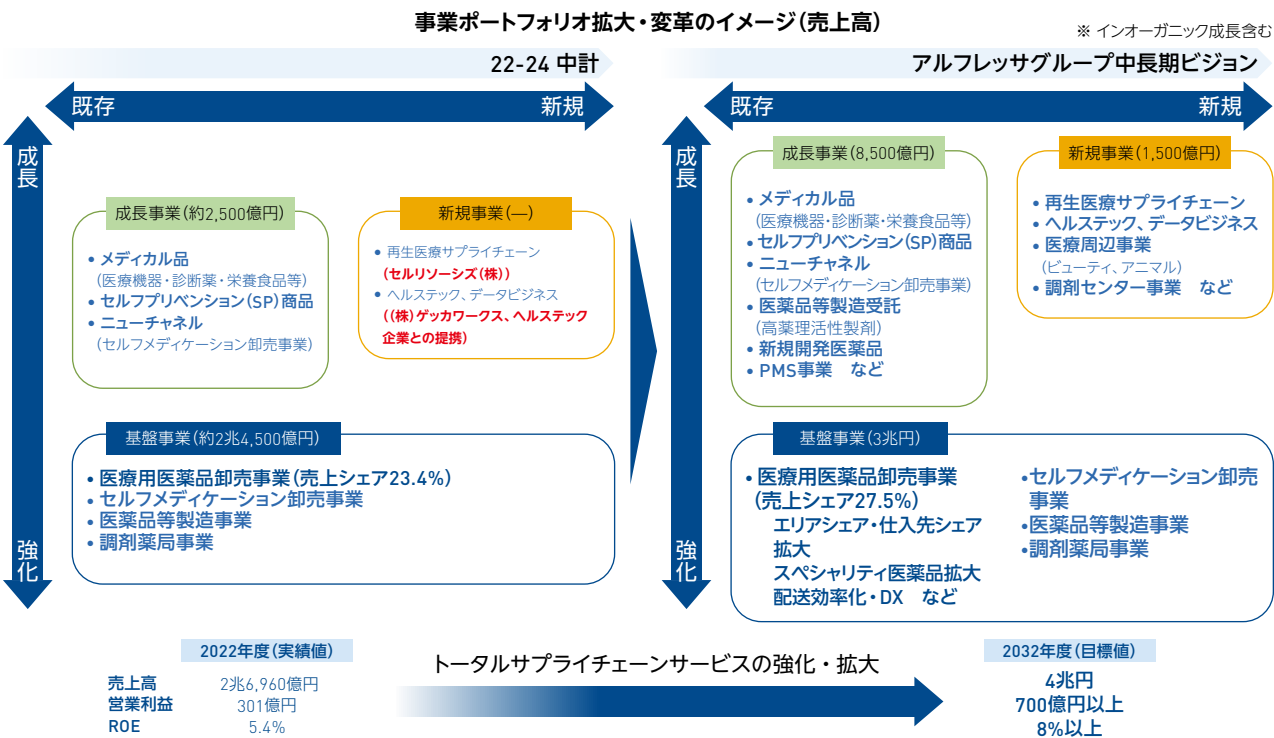
事業戦略では、健康に関するあらゆる分野の商品・サービスを提供できるヘルスケアコンソーシアム®の実現を追求し、基盤事業と成長事業、および新規事業の利益拡大を図ります。財務・資本戦略では、財務健全性を維持しつつ、株主のみなさまへの利益還元をより一層充実させるなど、最適資本構成に向けたB/S(貸借対照表)コントロールによる資本効率の改善によって中長期的な企業価値の向上を目指します。非財務(ESG)戦略では、CO₂排出量削減と物流効率化推進、人的資本への積極的投資、コンプライアンス遵守の徹底を中心に推進していきます。



事業戦略：事業ポートフォリオの拡大と変革

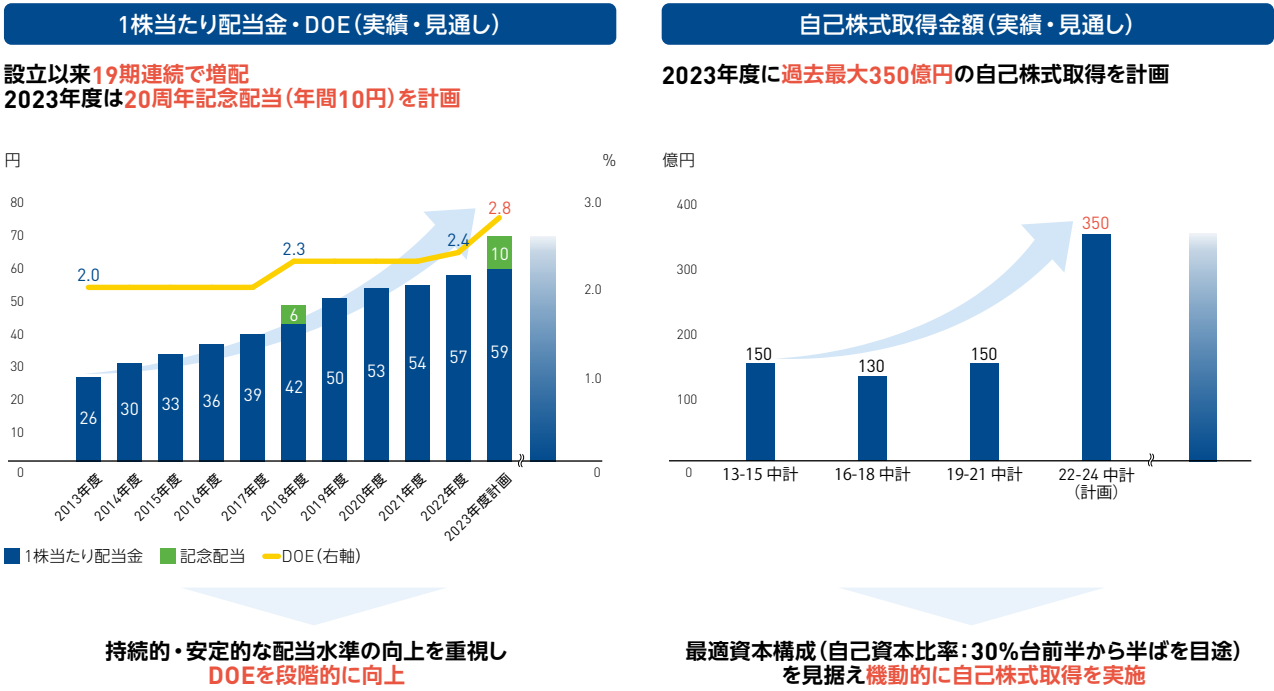
「アルフレッサグループ中長期ビジョン」で掲げた2032年度までの目標を達成するために、医療用医薬品等卸売事業の強みを源泉に、基盤事業の強化、成長事業の育成、および新規事業の開発を進めます。成長事業では、医療用医薬品等卸売事業のメディカル品※1やPMS事業、セルフメディケーション卸売事業のSP商品※2やニューチャネル、医薬品等製造事業の製造受託や新規開発医薬品に注力します。新規事業では、再生医療サプライチェーン、ヘルステック、データビジネス、ビューティ、アニマル、および調剤センター事業により新たな価値を生み出します。これらの実現のため、22-24 中計では1,200億円の投資を計画しており、その後も2032年度に向けて3,200億円の投資を見込んでいます。積極的な投資を進めることで、企業価値の持続的な向上を目指します。

※1 メディカル品：医療機器・医療材料、診断薬、栄養食品等
※2 SP商品：セルフプリベンション商品などの当社グループの専売商品



財務・資本戦略：株主還元強化

22-24 中計の資本政策では、「財務健全性」をベースに積極的な成長投資と「資本効率の向上」および「株主還元の充実」の最適バランスを追求し、企業価値の向上を目指しています。ROEについては、22-24 中計で株主資本コストを上回る水準を目標にしており、株主還元については、持続的・安定的な配当水準の向上を重視し、設立以来19期連続で増配するとともに、DOEを段階的に向上させています。当社設立20周年となる2023年度においては、株主のみなさまへの利益還元をより一層充実させるため、普通配当金の1株当たり59円に加えて記念配当として年間10円を計画し、DOE2.8%としました。加えて、過去最大の350億円規模の自己株式取得を行います。さらに、22-24 中計3カ年累計の総還元性向を100%とし、今中計以降もDOEを段階的に向上させるとともに、最適資本構成(自己資本比率:30%台前半から半ば)を見据え、適時に機動的な自己株式取得を実施することで、純資産の積み上げを抑制し、2032年度までにROE 8%以上を目指していきます。



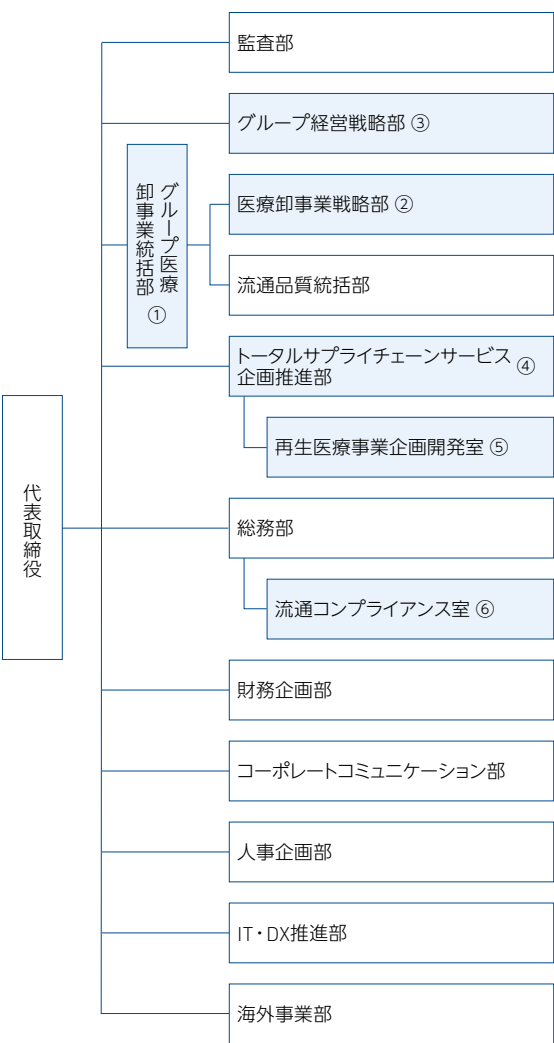
アルフレッサ ホールディングス(株)が4月1日付で機構改革を行いました

アルフレッサ ホールディングス(株)では、2023年4月1日付で機構改革を行いました。この新体制により、グループガバナンス体制のさらなる整備と強化を推進しつつ、グループシナジーの発揮により、基盤事業の強化、および成長事業や新規事業の拡大を進め、22-24 中計の目標達成を目指します。

新設した主な組織とその役割

- ① **グループ医療卸事業統括部**
グループ最大の事業セグメントである医療用医薬品等卸売事業8社を統括し、グループ一丸となった営業・ロジスティクス体制の強化やガバナンス体制の整備および医療用医薬品やメディカル品の卸売事業における総合力強化を図ります。また、医療卸事業に関する新規事業の開発を進めます。
- ② **医療卸事業戦略部**
グループ医療卸事業統括部が管轄する組織として、医療用医薬品等卸売事業に関する戦略の立案と推進を行います。
- ③ **グループ経営戦略部**
グループ戦略を立案し推進します。医療用医薬品等卸売事業以外の3セグメントを統括、新規事業の開発も進めます。
- ④ **トータルサプライチェーンサービス企画推進部**
新薬(再生医療等製品を含む)の導入・開発・製造から物流・販売までをグループ一体で提供するトータルサプライチェーンサービスの企画と推進を行います。
- ⑤ **再生医療事業企画開発室**
トータルサプライチェーンサービス企画推進部が管轄する組織として再生医療事業分野のサプライチェーンの企画推進を行います。
- ⑥ **流通コンプライアンス室**
医療用医薬品等卸売事業の流通コンプライアンスおよび独占禁止法の遵守を推進します。

アルフレッサ ホールディングス(株) 組織図(抜粋)



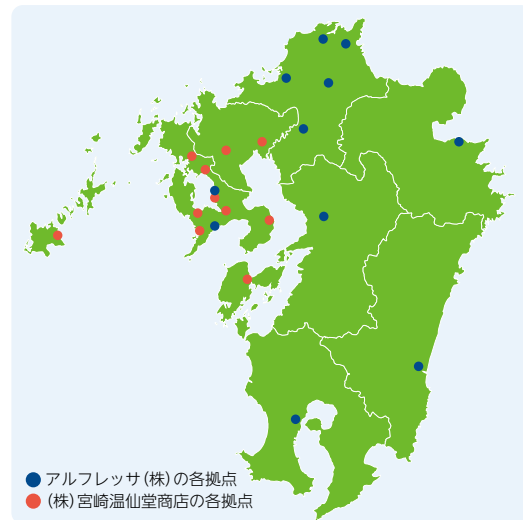
(株)宮崎温仙堂商店の株式を取得(完全子会社化)しました

当社は、九州エリアにおける事業基盤の強化を目的として、2023年2月に(株)宮崎温仙堂商店を完全子会社としました。(株)宮崎温仙堂商店は1927年に設立され、医療、介護、生活支援関連の卸売事業会社として長崎県、佐賀県および熊本県天草地方に事業基盤を有しています。

当社グループの持つ九州における従来の市場に加えて、新たな商圈を得ることによりエリアシェアの拡大が実現できるとともに、大規模災害等の対応力向上を通じて地域医療に貢献するなど、企業価値のさらなる向上を目指します。

またアルフレッサ(株)は、(株)宮崎温仙堂商店との間で医薬品等の流通に関する業務提携契約を締結しました。これにより、医療用医薬品等卸売事業における仕入・物流・情報システム等の機能の充実や災害時のBCP*等の強化につなげていきます。

※ BCP: 災害などの緊急事態における事業継続計画(Business Continuity Planning)



「新生」アルフレッサ ファーマ(株)が4月1日よりスタートしました

医薬品の製造・販売に加え、診断薬・医療機器・医薬品原材料の製造・輸出入・販売に強みを持つアルフレッサ ファーマ(株)が、医薬品・医薬部外品等の受託製造に強みを持つサンノーバ(株)と2023年4月に合併し、「新生」アルフレッサ ファーマ(株)として新たにスタートしました。これまでの両社の強みを活かし、医薬品や医療機器等の製造販売および製造受託分野において新たな価値の創造を通じた顧客満足を目指します。

(株)ケイファーマと筋萎縮性側索硬化症(ALS: Amyotrophic Lateral Sclerosis、以下「ALS」)の治療薬としてロピニロール塩酸塩の国内開発権・製造販売権許諾契約を締結

アルフレッサ ファーマ(株)は、(株)ケイファーマとの間でALSの治療薬としてロピニロール塩酸塩の日本国内における開発権・製造販売権許諾契約を締結しました。ALSは、重篤な筋肉の萎縮と筋力低下をきたす神経変性疾患であり、国内では約1万人の患者様がいます。運動ニューロン病の一種として、国内では特定疾病に認定された指定難病であり、アンメット・メディカル・ニーズ*の高い疾病です。

アルフレッサ ファーマ(株)は、ロピニロール塩酸塩をALS治療の新たな選択肢として患者様に一日でも早くお届けできるよう開発に取り組んでいます。

※ アンメット・メディカル・ニーズ: いまだ満たされていない医療ニーズ

セルリソースズ(株)を設立しました

2022年4月、アルフレッサ(株)は、再生医療等製品の安定供給に貢献するため、セルリソースズ(株)を設立し、他家細胞^{※1}の抽出・加工および再生医療等製品の中間製品(マスターセル)の保管を行う細胞培養加工施設として「郡山Cell Processing Center」を建設、2023年3月より稼働しました。また、2022年12月、セルリソースズ(株)はテラファーマ(株)より再生医療等製品の製造事業を承継しました。譲り受けた施設「殿町Cell Processing Center」では、自家細胞^{※2}の抽出・加工・製造を行います。

セルリソースズ(株)は、自家細胞と他家細胞を取り扱う拠点を保有し、再生医療等製品の安定供給に貢献すべく、「細胞の抽出・加工」から「再生医療等製品の製造」までの事業を目指します。

※1 他家細胞: 健康な細胞提供者から採取した細胞

※2 自家細胞: 患者本人の細胞

郡山CPC (Cell Processing Center)



郡山CPCを併設した東北アルフレッサ(株)の郡山物流センター



郡山CPC内の様子

他家細胞の抽出・加工、
マスターセルの保管

殿町CPC (Cell Processing Center)



殿町CPCを併設した殿町ライフィノベーションセンター



細胞加工室での作業の様子

自家細胞の抽出・加工・製造

国産マスターセルを
安定的に供給

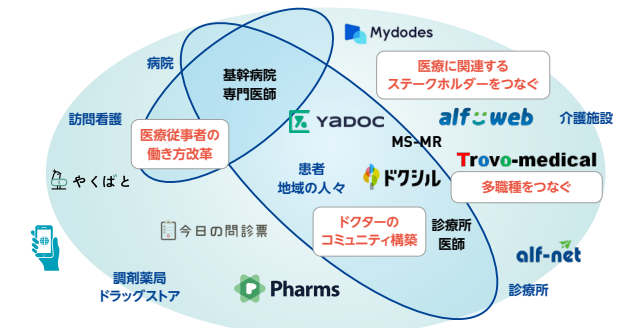
創業企業をサポート

(株)ゲッカワークスの設立および「ドクシル」の実証実験を開始しました

当社は、地域医療連携推進を目的とする(株)ゲッカワークスを設立し、医師向け会員制Webサービス「ドクシル」の実証実験を開始しました。「ドクシル」は実名医師の専門性データ、全国の医療機関データを活用することで、地域の医師や遠隔地の専門医同士をオンラインでつなぐ医師向けの会員制Webサービスです。

当社グループは地域医療連携推進を支援し、ヘルスケアに携わる方々をつなぐ私たちの活動を新たなステージへ進め、地域医療構想の実現を下支えすべく、貢献してまいります。

地域医療の支援と貢献、医師の働き方改革

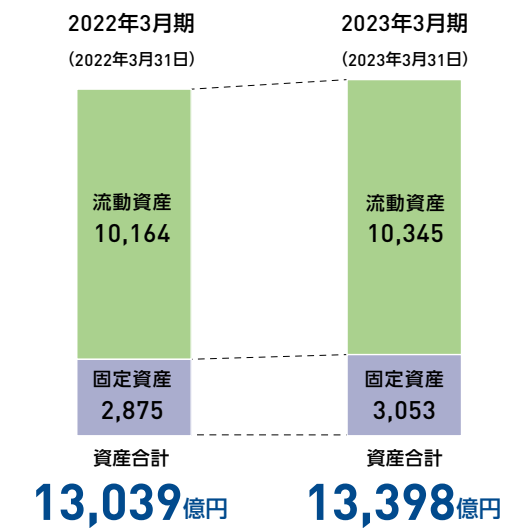


※ やくばとは、(株)やくばとの提供サービスです。

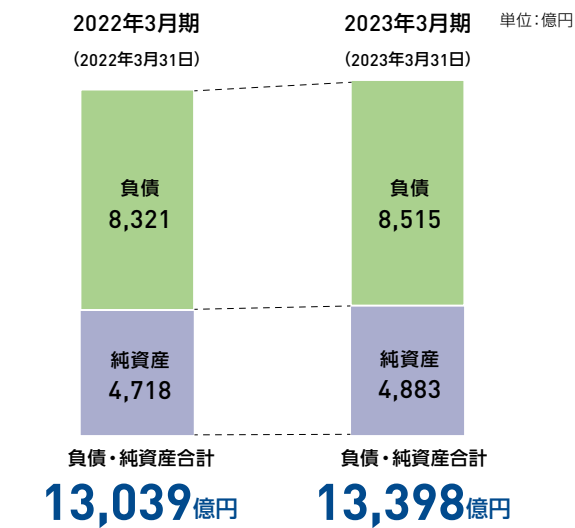
連結財務諸表（概要）

(注) 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」等の適用による会計方針の変更および受取情報料等について表示方法の変更を行っています。

連結貸借対照表



POINT 資産	
資産は2022年3月期末と比較して、358億円の増加となりました。	
流動資産：+180億円	
現金・預金	△203億円
受取手形・売掛金	+211億円
棚卸資産	+59億円
固定資産：+178億円	
有形固定資産	+140億円
投資その他資産	+46億円



POINT 負債・純資産	
負債は2022年3月期末と比較して、193億円の増加となりました。	
流動負債：+229億円	
支払手形・買掛金	+250億円
固定負債：△35億円	
純資産：+165億円	
資本剰余金	△439億円
利益剰余金	+146億円
自己株式	+439億円
その他有価証券評価差額金	+23億円

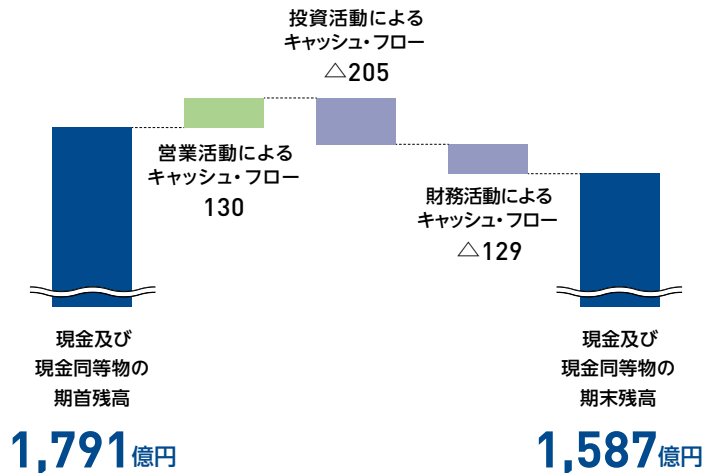
連結損益計算書および業績予想

単位：百万円			
科目	2022年3月期 (2021年4月1日～ 2022年3月31日)	2023年3月期 (2022年4月1日～ 2023年3月31日)	増減額
売上高	2,585,643	2,696,069	110,426
売上総利益	187,468	192,085	4,617
営業利益	29,091	30,148	1,057
経常利益	32,576	32,831	254
当期純利益*	32,182	25,786	△6,395
2024年3月期予想			
			2,744,000
			200,700
			32,000
			34,000
			22,000

* 親会社株主に帰属する当期純利益

連結キャッシュ・フロー計算書

2023年3月期 (2022年4月1日～2023年3月31日) 単位：億円



POINT キャッシュ・フロー計算書	
現金及び現金同等物は、2023年3月期において203億円の減少となりました。	
営業活動によるキャッシュ・フロー：130億円の収入	
税金等調整前当期純利益	+385億円
仕入債務の増加	+250億円
売上債権の増加	△223億円
減価償却費	+128億円
投資活動によるキャッシュ・フロー：205億円の支出	
有形固定資産の取得による支出	△227億円
投資有価証券の売却による収入	+105億円
財務活動によるキャッシュ・フロー：129億円の支出	
配当金の支払額	△111億円

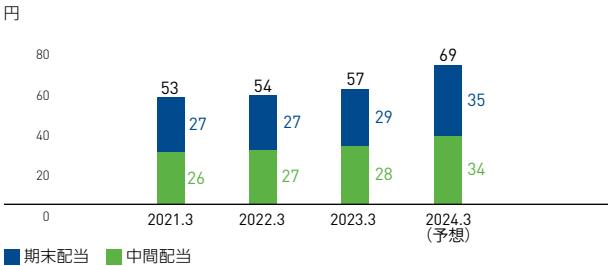
株式の状況

発行可能株式総数	540,000,000株
発行済株式総数	202,840,000株
株主数	16,070名

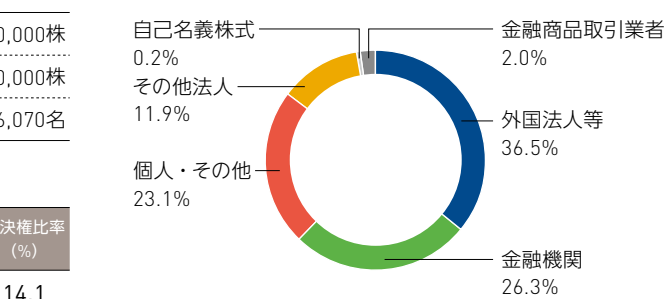
大株主

順位	氏名または名称	所有株式数 (千株)	議決権比率 (%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	28,473	14.1
2	NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	12,480	6.2
3	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	10,862	5.4
4	アルフレッサ ホールディングス社員持株会	5,843	2.9
5	NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT	5,662	2.8
6	NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	5,447	2.7
7	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	3,908	1.9
8	第一三共株式会社	3,202	1.6
9	BNYM TREATY DTT 15	3,129	1.5
10	NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	3,077	1.5

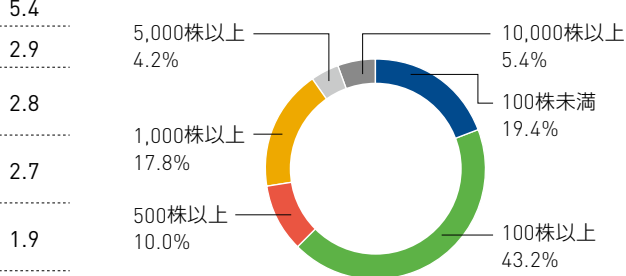
1株当たり配当金



所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況



配当について

2023年3月期の配当金は、連結純資産配当率(DOE)2.4%以上の基本方針のもと、中間配当金28円および期末配当金を29円とし、年間配当金を57円といたしました。

2024年3月期は中間配当金34円、期末配当金35円で年間配当金69円を予定しております。

(注) 2024年3月期における中間配当金および期末配当金には20周年記念配当がそれぞれ5円含まれております。

会社名	アルフレッサ ホールディングス株式会社 (Alfresa Holdings Corporation)
本社所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号
従業員数	11,772名(連結)
設立年月日	2003年9月29日
事業の内容	医薬品、医療用検査試薬、医療機器・用具の卸販売、製造販売、輸出入ならびに調剤薬局の経営とこれらに附帯する事業を行う子会社の管理等
資本金	18,454百万円

グループ会社(連結)

医療用医薬品等卸売事業
・アルフレッサ株式会社
・四国アルフレッサ株式会社
・ティーエスアルフレッサ株式会社
・明祥株式会社
・株式会社琉葉
・東北アルフレッサ株式会社
・アルフレッサ メディカルサービス株式会社
・アルフレッサ篠原化学株式会社
・エーエル プラス株式会社
セルフメディケーション卸売事業
・アルフレッサ ヘルスケア株式会社

取締役および監査役 (2023年6月27日現在)

代表取締役社長	荒川 隆治
代表取締役副社長	岸田 誠一
代表取締役副社長	福神 雄介
取締役常務執行役員	大橋 茂樹
取締役常務執行役員	田中 敏樹
取締役	勝木 尚
取締役	島田 浩一
取締役(社外取締役)	原 大
取締役(社外取締役)	木下 学
取締役(社外取締役)	竹内 淑恵
取締役(社外取締役)	國政 貴美子
常勤監査役	尾崎 正和
常勤監査役	上田 裕治
監査役(社外監査役)	加藤 善孝
監査役(社外監査役)	伊東 卓
監査役(社外監査役)	木崎 博

医薬品等製造事業
・アルフレッサ ファーマ株式会社
・青島耐絲克医材有限公司
・アルフレッサ ファインケミカル株式会社
医療関連事業
・アポクリート株式会社
情報システムの運用・保守および開発事業
・アルフレッサ システム株式会社